



(社)十和田市観光協会ほか三団体合併調印式

2月8日に、社団法人十和田市観光協会、十和田湖観光協会、十和田市物産協会の三団体合併調印式が行われました。十和田湖観光協会と十和田市物産協会が解散し、社団法人十和田市観光協会へ併合する形で、本年4月1日の合併となり、観光と物産が一体となります。本市の魅力的な観光資源や特産品などを全国に情報発信することにより、誘客促進および観光産業の活性化が期待されます。

磨け！自分力。十和田雇用創出プラン

1月8日から2月26日まで全9回にわたり「IT技術レベルアップ研修」が十和田商工会館で開催されました。受講生たちは、パソコンの基礎知識、電子メールの使い方、ホームページの作成などの実践的なIT技術を身に付け、就職や起業などのため熱心に研修に取り組みました。



日本三大開拓地小学生交流

本市と宮崎県川南町、福島県矢吹町は、戦後の国営開墾事業の中で技術的に困難な開拓を克服し、成功した地域ということで、平成14年10月20日に矢吹町において日本三大開拓地サミット宣言が行われ、交流が始まりました。

小学生たちは、1月19日・20日に法量の水門や駒っこだら、新渡戸記念館などを見学し、友好を深めました。



青森中央学院大学と本市が協定を締結

2月12日、青森中央学院大学と十和田市との間で、地域振興のための連携・協力の協定を締結しました。協定の目的は、産業、教育、文化、歴史および経済などの各分野において、相互に連携することで、活力ある地域社会の形成と発展に寄与することです。本協定は国際化社会に対応していくため、アジアからの観光客誘致や海外交流のための語学サポート態勢確立などに効果が期待できます。

市民スキー大会開催

2月17日十和田湖温泉スキー場で、第40回市民スキー大会が開催されました。小学生から一般まで約70人が日ごろの練習の成果を存分に発揮し、さわやかな汗を流しました。選手たちは、急な斜面に作られた大回転競技のコースを、風のように滑走しました。



十和田市現代美術館 特任館長に小林央子さんが就任

2月1日市役所で、今年4月26日に開館する十和田市現代美術館の特任館長小林央子さんへの辞令交付式が行われました。東京都在住のフリーキャスター小林央子さんは「特任館長の任を受け、光栄に思っています。開館前フォーラムやPR活動で協力してきましたが、これからも十和田市のまちづくりを、国内外へPRするつなぎ役として職務を全うしていきます」と抱負を述べました。



広報担当がどこでも取材に行きます！

あなたの笑顔を逃しません！

まちの話題やイベントを紹介するこのページの名は…

Town Hot News まちの ほっとニュース

総務課 文書広報係 ☎ 5111 内線 156

市民講演会開催

1月31日、市民文化センターでNHK番組「その時歴史が動いた」のキャスター松平定知さんが、「街の元気づくり」をテーマに講演。会場には約400人の市民が参加し、十和田市の魅力について考えました。

また、日常生活の中にある放射線について、理学博士の荒谷美智さんが講演しました。



南部裂織保存会 澤頭ユミ子さん 青森県伝統工芸士に認定

12月17日、県から伝統工芸品の高度な技術や技法を保持している7人に対し、伝統工芸士の認定証が授与されました。十和田市からは南部裂織保存会の澤頭ユミ子さんが認定を受けました。

澤頭さんは「うれしさと同時に、責任も感じ、身の引き締まる思いがしました。次の世代、特に若い世代に裂織を継承していきたい」と今後の抱負を話していました。



市長が映画の撮影に臨みました

2月5日、「三本木農業高校 馬術部」の映画の撮影会が始まりました。主役の長瀨文音さんの祖父役で出演する中野渡市長は慣れない撮影現場の中、見事な演技力を披露しました。

映画の撮影は2月10日で終わり、今年の8月に県内で先行上映する予定になっています。



セーフコミュニティを目指して

2月14日、市保健センターで「セーフコミュニティとわだを実現させる会」の定例会を開催。会員など20名が参加し、十和田市をセーフコミュニティ（安心安全なまち）の認証へ導くためのサポート隊としての、平成20年度の活動内容を確認しました。今後もボランティア組織として、市の協議会などを通じ具体的な取り組みの提言や市民への普及活動を行う予定です。



食育をテーマに 男女共同参画を考える

2月9日、中央公民館で「食育と思いやりの心」をテーマに男女共同参画社会推進講座が開催されました。講師を務めたJA田子町常務理事の佐野房さんは、自らの生い立ちを題材に「思いやりは家庭の中ではぐくむもの。家族が食事を通して会話し、情報交換することで思いやりの心が生まれるものです」と食育の大切さを語りました。



つなげ命のたすきを わたしたちに救える命があります

1月22日、市保健センターで市職員を対象とした普通救命講習会が開催されました。119番通報をして、救急車が現場へ到着するには平均5分以上かかることが予想され、その間に落とす命が少なくないのが現状です。命のたすきをつなげようと、AED（自動体外式除細動器）の使用のしかたを習得し、万が一の事態に備えています。講習会は、十和田消防署で受け付けています。

